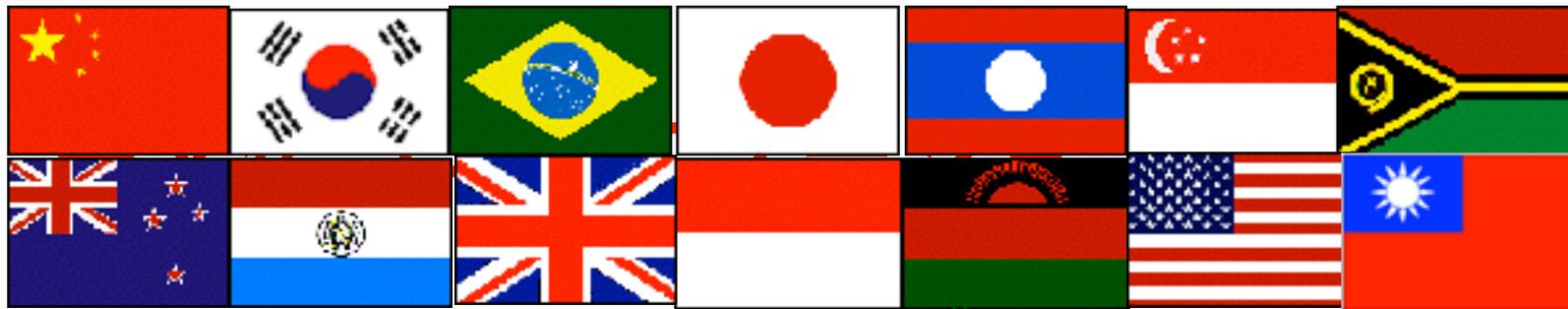




Enjoy your Host Family Life !



Why and What to do ?

どうして、ホストファミリーをするの？

どんなことをするの？



◎ 家族を増やす、友人を増やす。

◎ 他（ゲストのひと、国、文化）を知り、自（じぶん、ふくしま、日本）を
知知り、そして自（じぶん、ふくしま、日本）を知ってもらう。

◎ ゲストと同じ時間、同じ環境を共有する。

◎ 違いを発見し、違いを理解し、違いを認め合う。

◎ 顔、体、言葉、文化・・・いろいろ違っても、結局は同じ「人間」であることを再認識する（みんなチヨボチヨボ！、五十歩百歩！）。

What's important? 大切なことは？

As Usual ふだん着のまま

特別なことをする必要はない。いつもの生活、普段の暮らし方で。
和室に和布団でもOK。和式トイレでもかまわない。五右衛門風呂問題なし。
これもひとつの文化体験。

Information 事前情報はできるだけ多く

ホームステイは異文化接触の場。事前の情報交換が多いほど相互理解が早まる。
依頼団体からの情報を事前に最大限引き出そう。



Smile 笑顔が大事



少し長めのステイになるとホームシックになったり、病気になったりすることも。異文化の中で不安感を抱えているゲストの立場を考え、常に笑顔を絶やさないで接しよう。交通事故にあわないように伝えよう。

Conversation 言葉は絶対ではない。(でも話せればbetter)

言葉は1つの手段に過ぎない。
身振り、手振り、筆談でもOK。
「電子辞典」がけっこう役に立つ。
(発音音声付きのものもある)





Rule ルール



食事やお風呂、就寝の時間、門限、ゴミの捨て方、お風呂の入り方（シャワーだけの人が多いが）など、**我が家のルールは遠慮せずに伝えよう。**

Yes or No ? 是か非か、それが問題だ

ツーといえばカー？ 以心伝心？ 目を見りゃ分かる？

曖昧さを残す表現をする民族は少ない。

Yes / No / I don't Know **をはっきり** 言おう。

たまには、You're right, but I think . . . など、さまざまな表現方法も工夫してみてもは？

Religion 宗教の尊重



ゲストにとっては宗教は精神生活の中心。信仰や宗教上の立場を十分尊重する。キリスト教であれば礼拝できる教会を教えてあげるのもgood。イスラム教なら一日に何度も（場所を選ばず）お祈りする。どの宗教でもありのままに受け入れよう。中国は無宗教が多い。神棚（神道）や仏壇（仏教）を教えてあげると、興味を示すことが多い。



Politics 政治の話



お互い心おきなく話し合える雰囲気ができるまでは、政治の話は避けた方が無難（特にアジア系）。話すとしても感情的にならず穏やかに。



Meal 食事・料理



外国人が来たからといって、すき焼きや高級刺身など特別・豪華なごちそうを作る必要はない。ふだんの内容に一品加える程度でOK。

刺身や納豆、梅干しなど日本独特の料理も、ゲストが試食する程度の少量を用意するのはいいが、無理強いはしないように。全く受けつけない人もいる。

ゲストと一緒に料理したり、ゲストの国の料理を作ってもらうのも良い。

後片付け、食器洗いも一緒にしてもらおう（ゲストは客でなく家族です）。

ラーメン店や回転寿司、居酒屋を喜ぶ人もいる。大金をはたく必要はない。

また、ゲストの宗教や主義によって食事制限があることに注意。

※モスLEM（イスラム教徒）やユダヤ教徒＝豚肉（ハム等の加工食品を含む）

※仏教徒の一部やヒンズー教徒＝牛肉

※ベジタリアン（菜食主義者）＝すべての肉類（ごく稀だが）

国・地域・個人によって相当違うので、ひとつひとつ、ゲスト本人や依頼団体に確認しておく方がよい。※禁酒制約がある宗教（イスラム教など）もあるので留意。

Exchange だんらん・交流

わいわいがやがや楽しく話そう。身振り手振りの会話もOK。なんとか（なんとかく？）分かってくれるもの。何でも聞いてみよう（政治、宗教、人種、異性関係は話を深めないように）。

技術（技能）を持っている場合は、華道、茶道、着付け（浴衣（ゆかた）でも喜ばれる）、三味線や琴・尺八、折り紙、柔剣道など日本の伝統文化を紹介してみよう。

家族で楽しめるゲームで交流するのも良い。トランプ、オセロ、双六、囲碁・将棋（私は五目将棋をやりました）、折り紙、だるま落とし、剣玉、庭花火、TVゲーム、ボウリング、キャッチボール、サッカー・・・



ゲストの興味や趣味などを考慮し、また単なる視察見学でなく体験できるようなところも考えよう。強烈なイメージを持って帰ってくれる。

☆ 四季の里 ガラス絵彫り体験

☆ 川俣実習施設・会津桐屋など そば打ち体験

☆ 上川崎 和紙梳き体験

☆ 大堀相馬焼・二本松万古焼など 陶芸体験

☆ フルーツライン 果樹狩り

☆ 土湯温泉こけし、高柴デコ屋敷三春駒や会津絵ローソク 絵付け体験

☆ オン・シーズンであれば 福島競馬場 視察など盛り沢山あり。

陶芸体験



観光地で喜ばれたのは、大内宿、滝根鍾乳洞、アクアマリン、高湯玉子湯露天風呂、裏磐梯弥六沼、檜原湖遊覧船など。他に福島夏の花火大会も好評。

なお、迷子になったときのために、ゲストにテレホンカードと「迷子カード」(本人の名前、ホスト宅の名前と電話番号を記入)を持たせたり、長期のステイになる場合は、携帯電話(プリペイド式含む)を持たせておくと安心。

Hello Goodbye

お迎え・お見送り

Hello

歡迎光臨

明るく、できればゲストの母国語でウエルカム！

玄関にゲストの国旗と「Welcome」の紙を貼っておくと喜ばれる。

靴は玄関で脱ぐことを忘れずに伝える。

再見

Goodbye



お互いの正確な名前と住所などを書いたものを交換しよう。最近は特にほとんどの人が電子メールを使うので、メール・アドレスやURLアドレス（ブログや自分のホームページを持つ人も増加している）も交換しよう。しないと後で後悔する。

お土産は必ずしも必要ない。私が最近あげたものは、デザイン風呂敷、会津の起きあがり小坊師など。高価でなく、がさばらないもの。

さいごに

- ホスト・ファミリーとしてゲストを迎える際の心構え、注意点などについて、私の経験の中から、簡単にまとめてみましたが、いかがでしたか？
- 要は、普段の生活の延長だと考え、大げさに構えないこと、客でなく家族の一員としてお迎えし、交流することが肝心だと思います。
- お別れした後は手紙やグリーティング・カード（バースデーカード、年賀状）、電子メール等で連絡しましょう。
- 自分のホームページを持っている人だったら、記念写真をアップロードし、インターネット上で見てもらいましょう（電子メールだとファイルが重くて多数の写真を添付ファイルとして送れないことが多い）。
- ホスト・ファミリーは、簡単ではないが難しいものでもありません。あなたも是非トライしてみませんか？



2001年春来宅した NZのB.H.さんと共に